

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月31日

事業所名 放課後デイGranny須恵わかば

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		法令を遵守したスペースを確保しています。	・子どものスケジュールをしっかり管理し適切な支援ができる環境作りに取り組んでいきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		配置基準に合わせて配置しています。	・送迎時、人員配置も含めた段取りの工夫が必要があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		手すり、滑り止め、衝撃吸収マット等設置しています。	・段差が多い所あり、民家での営業のためバリアフリー化が難しい状況です。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3		毎日朝礼を実施し、業務の改善に努めています。	・職員全体にPDCAサイクルが周知されていないので、体制を整えていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			ミーティングの時に話し合いの時間を設けています。	・今後も継続・実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			公開しています。	・今後も継続・実施していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	1	受審していません。	・外部評価は行ってないが、検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		正規スタッフは研修に参加し、パートスタッフに関してはミーティングの時に情報を共有しています。	・パート職員も多く、研修の機会はあまりないので、参加した職員から話をきくようにしています。 ・今後も研修などに参加し、知識を深めたいと思います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			事前の聞き取り、見学、基礎調査票に加え、個別の初期評価を実施し、支援の方向性を保護者と共に確認しながら作成しています。	・今後も継続・実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		使用しています。	・今後も継続・実施していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		職員間でアイデアを出し合い内容について検討、立案を行っています。	・管理者に頼ってしまっているので、意見をだせるように考えようと思います。 ・偏った活動にならないように、児童の状況に応じて柔軟に対応していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		季節を感じられるプログラムとなるように工夫しています。	・発達状況に合わせた活動内容となるよう、活動内容の工夫に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		子どもの様子を見ながら、無理なく活動出来るようにしています。	・きめ細やかとまでは言えませんが、今後も充実した活動内容を提供していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			評価・保護者からの聞き取りをもとに、スタッフ間でミーティングを行い、計画を作成しています。	・一人ひとりに合った支援計画になるよう、個別活動と集団活動のバランスをみて作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	1	毎日朝礼を行い、情報の共有に努めています。	・具体的な内容を確認し、より良いものとなる様心がけていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		業務終了時間のずれにより毎日は難しいが、翌日の朝礼で共有するようにしています。	・勤務時間がバラバラで、毎日とは出来ないが、ノートの記録を確認するようにしています。 ・状況に応じた対応を今後も継続して行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			変化や成長が分かるようにしています。	・今後も記録の徹底を意識し、継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			半年に一度、あるいはそれ以上の頻度でモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っています。	・相談支援専門員とも積極的に連携していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		出来る限り複数の組み合わせを行っています。	・今後も継続していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理責任者が参加しています。	・今後も継続していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		・学校行事、下校時間等は子どもへの配布書類により確認しています。	・必要に応じて電話をかけるなど、情報の共有を行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			保護者に医療機関からの指示書を提出していただき、すぐに確認できるようにしています。	・今後も継続していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	現在、該当する子どもはいません。	・今後、必要性があれば、対応していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1	現在、該当する子どもはいません。	・今後、必要性があれば、対応していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	担当者会議において話し合いを行っています。	・コロナ禍において、話し合いの場を設けることが難しい状況もあります。必要に応じて連絡をとり、連携していきます。 ・専門機関との接続をどのようにすればいいのか理解出来ていない部分もあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4	現在、行っていません。	・コロナの状況により、機会が増える可能性はあります。 ・コロナの感染状況をみて、今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	1	現在、行っていません。	・今後検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳でのやりとりや、送迎時に必ず話をして、様子を確認するようにしています。	・今後も安心してご利用いただくために、日々の情報共有を行っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	相談に対して、個別に対応しています。	・積極的なペアレントトレーニング実施には至っておらず、今後更に知識を深め、支援していきます。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に説明を行い、更新により負担額が変更となった際などは再度説明をしています。	・引き続き丁寧な説明を心掛け、変更の際には速やかにお知らせします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			連絡帳及び電話等に対応しています。	・適切な助言ができるように努めるとともに、相談しやすい雰囲気づくりにも注力していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	3	現在、父母の会等行っていません。	・コロナもあり、出来ていません。 ・今後、要望が多くあがるようであれば検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			速やかに児童発達支援管理責任者に内容報告を行い、対応しています。	・できる限り迅速かつ丁寧な対応ができるよう心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			月一回会報(わかばだより)を発行しています。	・普段の様子をより詳しく伝えられるよう、工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5			個人ファイルは決められた場所に保管し、持ち出しは禁止しています。	・引き続き個人情報の管理を徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			連絡帳を使用し、子どもの様子を伝えたり、保護者からの連絡事項がないか確認しています。	・今後も継続・実施していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3	現在、行っていません。	・コロナのため、できていません。 ・今後、地域に根付いた事業所としての取り組みを考えていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	1	各種マニュアルを策定し、スタッフ間で周知しています。	・保護者の方々にも周知していただけるように努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			地震や火災を想定し、場面に合わせた訓練を実施しています。	・訓練の内容や実施の有無を会報等を通して発信していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待をテーマとした勉強会を年間研修予定に組み込んでいます。	・今後も実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			どのような状況の時に必要なかを保護者に説明、許可を得て実施しています。計画書へも記載しています。	・まず身体拘束を行わないのが大原則ですが、リスクが高い場合には説明、了承を得た上で対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			現在、該当する子どもはいません。	・今後、対象となる子どものご利用があれば、表を作って周知するなど、対応を工夫していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			事例をとりまとめ、立案と対策を策定しています。	・今後も報告書を事業所内で確実に回覧し、事故につながらないよう配慮していきます。